

東京鋼板の争議団を勝たせろ！
塩と味噌となめて戦つてゐる鋼板の兄弟を救へ
鋼板会社と云ふ平先白色皮犬を叩きのめせ

一九三〇年九月十一日 関東全属産業者労働組合
全日本労働連盟の旗印を合す

最後の一戦に供へり

今一息だ 決死的な奮闘をせよ！！

悪戦苦闘の二十日 今や鋼板争議は一貫共済のみとの戦ひではなく
無産階級運動の組織的攻撃を要求する労働者連合、産業界同連、提携会、農
力闘争を向うと闘つた。悪戦苦闘が繰返されるか？ 突進するかの階級闘争路に三つ
て突進して斗ひぬく労働者共士の活躍を望む！

階級闘争に同志八人は送り込んで居る。格別初めの同志は救知せず。労働団は脱教と
サヘルに上つて階級闘争を、しかし我々の争闘は萎縮したてゝある。吾等
以上この原を暴撃し増悪と反抗は今更に色むり水益を拡大し勇猛拡大し、お
現在もむかひかつてなかつた。階級闘争はさうして一息と怒られてゐる。新
り十階級は和つてゐる。おらう。各組合をよりからの急務階級を救知の付つてゐる
か、以上三階級の階級を、食糧運動が欠乏してゐる。労働団は今懸念を以てや
争を推して斗つてゐる。この進出する争闘を勝たすべき義勇と健康は我々の同盟
運動階級を伴ふ。

労働者の若し争闘は労働階級のみに知つてゐる。この間の争闘は備付さあ、
争闘を起す争闘は連年の力のりにも争闘を力かつてゐる。労働団は食ふものか、
くち水は水を煮くても最後進出争闘を全面か手を握つて誓や者お涙を流して見て居
られるか
かくかく若し争闘を争ひぬりてこそ我々の勝利かくる。大

今一息だ 各組合員労働者連合を
つとしてこの進出する階級争闘にキつ金の雨を降らせろ